

2009 年 11 月度・運営委員会・議事録

《デュッセルドルフ日本クラブ》

日 時 : 2009 年 11 月 23 日 (月) 14:00~15:10

場 所 : 日本商工会議所会議室

出席者 : 正副会長 3 名、監事 1 名、各正副部長並びに委員 13 名 (代理 1 名)、オブザーバー 2 名、来賓 3 名、事務局 4 名 計 26 名

議事進行 : 宮村総務管理部副部長

1. 開会の挨拶 秋川会長

- ① 今秋のソフトボール大会は、何とか天候にも守られ無事終了した。準備等でご協力を頂いた、原田運動部長をはじめ関係者各位に、感謝の意を表したい。
- ② 今日の運営委員会には、多数の議題を予定しているが、特に今年度の会計報告及び来年度の予算について審議されるが、活発議論等をお願いしたい。
- ③ 今年は特に厳しい経済環境の下で、皆様のビジネスにおいても課題が山積する中をこのようにお集まり頂いている。日本クラブも今年も後残すところ 1 ヶ月強であるが、会計年度は 12 月末ということなので、しっかり終らせたいと思っている。

2. 新入会員紹介 (承認事項) 檜山事務局長 (資料 1)

資料 1 の新入会員が紹介され、審議の末、承認された。あわせて、法人会員退会 2 社の報告があった。

3. JC 会員の推移 (報告事項) 柚岡事務総長 (資料 2~3)

資料に基づき会員の推移につき説明・報告された。

4. 運営委員会辞任、後任、新任 (承認事項) : 秋川会長 (資料 4)

下記の運営委員の辞任に伴い、後任・新任の紹介があり、審議の末、夫々承認された。

部名・役職	辞 任	後 任 ・ 新 任
総 務 部 副 部 長	平 井 保 彦 (ダイキン工業)	江 川 元 二 (ダイキン工業)
経 理 部 委 員	奥 田 浩 三 (NEC エレクトロニクス)	小 野 敏 彦 (NEC エレクトロニクス)
文 化 部 委 員	橋 本 紀 晃 (東芝システム欧州社)	松 田 清 (東芝システム欧州社)
委 員	酒 井 健 (KDDI ドイツ)	清 水 秀 樹 (KDDI ドイツ)
娛 楽 部 委 員	吉 岡 俊 (東京海上日動火災保険)	岡 田 哲 朗 (東京海上日動火災保険)

5. 各部報告 (報告事項) (資料 5~6)

各部より、資料に基づいて活動及び今後の予定について報告された。なお、運動部、文化部、図書部、広報部、生活部より次の補足説明があった。

1) 運動部 原田部長

- ① 10 月 14 日 (水) に運動部会委員並びに大会幹事に集まって頂き第 47 回ソフトボール大会の反省会を行った。当日は皆さんの思いがけない、天候にも守られ無事終了した。関係各位の協力等に感謝している。小さなけが以外に、打撲及び肉離れのけがあり兩人とも夫々病院に運ばれたと聞いている。前回大会で問題になった、駐車場の駐車の方法、ゴミ出し、及び犬が芝生内に入る問題等については、参加者が夫々事前に案内した注意事項を守って頂いた。会場に設置した本部席テントが風で浮き上がるという問題が発生したので、次回は何かの対応を講じなければならないと考えている。その他今後の大会のあり方について次の申し出があったが、この件については、運動部部会並びにソフトボール大会幹事会の中で検討して行きたいと思っている。
○ 毎回同じようなチームが決勝戦に残っているが、他のチームにも決勝戦に入れるような可能性のあるルール見直しを行ってどうか。
○ 秋の大会は、天候も不安定であり、寒くもなるので、年 1 回の大会にしてはどうか。
- ② 11 月 7 日 (土) の第 17 回デュッセルドルフ 3 国 (ドイツ・オランダ・ベルギー) 対抗国際交流少年剣道大会に秋川会長と一緒に参加した。当日の大会は大変スムーズに運営されており、また参加者のマナーも大変良かった。日本の剣道がここまでヨーロッパの社会に浸透しているのかと、うれしく

思った。

- ③11月8日の第13回バトミントン大会にも参加したが、今後も同大会が発展していくことを期待している。

2) 文化部 岩竹部長

- ①特に10・11月は「文化の秋」そのもので、多数の行事を行った。これらはボランティアの皆さんの企画・運営・協力で行われているもので、感謝している。
- ②11月8日(日)に新規の「小学生のための科学教室」を行ったが、大変好評であった。今後も継続していきたいと思っている。
- ③着物着付け並びに活花同好会の設置準備を進めている。
- ④三丁目副文化部長：直接文化部とは関係ないが、日本クラブ地下倉庫の品物が無くなるという問題が起きている。また同倉庫へはなるべく安全のために2人で行くことを心がけているが、時には一人で行かざるを得ないこともあるので、この際、盗難防止また安全面のための監視カメラの設置を提案したい。

この提案については、新たに同倉庫の鍵を取替えたり、また監視カメラの設置を検討することにした。

3) 図書部 山本部長

11月21日(土)に、「本のバザー」を行ったが、準備等を含めボランティアをはじめ多数の方々に協力頂き感謝している。当日用意した本が、1/3(約3千冊)売れた。残りの2/3は今後のバザーのためにクラブ地下倉庫に入れてあるが、次回からは、もっと手軽に出来る形のバザーを定期的に行っていきたいと考えている。

4) 広報部 事務局代理説明

8月29日にドイツラジオ局よりインタビューの申込みがあり、稲留広報部長が対応された。インタビュー内容は日本の政治システム・政治政党・選挙システム等の広範囲に及ぶものであった。

5) 生活部 金子副部長

料理教室が大変人気があり多数の方々より申し込みがあるものの、場所等の関係で参加数の制限をせざるを得なく、抽選の形でやっている。申込者が多いので、回数を増やすべきであるが、ボランティア部員の人数が少なく、対応できない状況にある。

6. 2010年度日本デー(報告事項) 柚岡事務総長

日本デー「文化・市民交流祭」は5月29日(土)、「経済シンポジウム」は5月19日(水)を予定し、分科会委員会にて夫々開催準備を進めている。日本デーの開催に当たってはまた協力をよろしくお願いしたい。

7. 2010年度「独日新年会」(報告事項) 柚岡事務総長

開催日を1月20日(水)に予定し、準備を進めている。今年の1月には、主催：ニーダーライン独日協会、協力：日本クラブ並びに日本商工会議所という形であったが、来年度については、従来どおり主催：日本クラブ並びに同協会、そして本年同様協力：日本商工会議所の形で行うこととした。会員各位への案内については12月上旬発送と考えている。

8. 2010年度会員総会事前審議

1) 2010年度会長選出手続き 宮村総務管理副部長

2010年度日本クラブ会長は、2月10日(水)の会員総会にて選出される。立候補届出は1月4日(月)より受付、締め切りは1月19日(火)としている。(詳細：日本人会報97号「日本クラブ各部のお知らせP.10」)

2) 2009年度会計報告 梅本経理部長(資料7)

2009年度の現時点での通期実績予想については、7月度の確定予算とほぼ同様で大きな変動はない。ただ、収入の部で、会費収入が若干多かったことから上ブレがあった。また、支出も節減努力で予算内に抑えられた。その結果、収支尻では、確定予算対比では+10.3千となり、12千の黒字になる見込みとなる。

3) 2010年度期初暫定予算大綱 梅本経理部長(資料7)

来年度年初の運営委員会・会員総会に提出する期初暫定予算案策定のために、予算の大綱を策定した。2010年度については、収入の部、支出の部、両サイドで減少する見込みとなり、収支では、▲3千の赤字が見込まれる。

2010年度期初暫定予算大綱では、会費・会員数予想の前提条件として、ここ数年、会員数が減っており、昨年度は5~7%減であった。2010年度も昨年同様に、3つのケースを想定し、中間ケースを採用し、平残会員数を法人5%、個人3%減と予測し、ベースとなっている平残の法人会員数を256社、

個人会員数を 1653 世帯と予想した。

○**収入の部**：2010 年度の会費収入＝475.87 千と、対 2009 年実績予想、▲36.1 千減少することを前提条件としている。他の収入の部では、広告収入、その他で▲5.6 千となり、従って、対 2009 年通期実績予想では▲39 千の減収の見込みとなる。

○**支出**：他方、支出の部では、2010 年度には、本年度あった事務総長交代に伴う関連経費がなくなること、事務局員の退職等により▲36.5 千と人件費が大幅に減ることが見込まれる。家賃・共益費が物価指数にあわせて上昇する見込みである。日本デー関係では法被購入が予定されている。また、広報では制作費・備品のアップ等により+6.9 千。また、従来、行事費と計上していた各部の予算を今回、運営費（文化部・生活部の会員の向けのサービス活動）と各同好会のクラブ活動費（個人の趣向で同好会に参加）を分けた。このクラブ活動費が+2.8 千、その他+3 千となり、対 2009 年実績予想、▲23.8 千、支出を削減できたが、収支▲3 千の赤字が見込まれている。

○**クラブ活動費（補助金）**：当クラブの各部の同好会活動における補助金については、従来は、各同好会から所属部の部長に申請し、これを各部の部長が纏め補助金として、申請・予算として承認されていた。しかしながら、新規同好会の設立、同好会会員の増加に伴い、同好会補助金申請額が増加し、2010 年度予算は赤字予算を計上しなければならない状況であることから、ここで、一般会計から予算配分している等の実情を勘案し、日本クラブとしての統一基準を作り、補助金の透明性を確立し、公平な形で各同好会を運営して頂く為に、クラブ活動補助金検討委員会を結成、同委員会の構成を松井副会長を委員長とし、その他の正副会長、各部部長を委員とすることが、正副会長会議で提案された旨報告され、承認された。

○**特別会計（資料 8）**：引越時に設定された特別会計について説明がなされた。管理ソフト及びハードの予算 25 千、本年度、図書の IT 化を実施により 10.5 千、引続き来年度 14.5 千予定している。演台に関しては、規模を縮小し、予算 6 千に対し、3.5 千（税抜き）の注文を実施した。ホームページのリニューアルについては、手付かずの状況で来年度に繰り越しとなった。当初の目的と予算通り特別会計は処理されている。

以上、2009 年通期実績見通しならびに期初暫定予算大綱の報告がされた。

9. 来賓挨拶

1) 総領事館 田中首席領事

①邦人保護

○連邦議会選挙後等において、イスラム系組織のテロ予告がなされている。邦人が対象となることは想定されていないが、巻き込まれる可能性も否定できないので、留意していただきたい。経緯などは総領事館のホームページをご覧ください。

○新型インフルエンザに関する感染者と接触した者の待機期間が変更された。また、予防接種が 10 月 26 日に開始された。

②日本デー

○日本デーには、日本クラブ、特に、文化部には大変お世話になっており、事務局として感謝申し上げます。来年度及び再来年度の花火の輸送は目途がつきつつあることをご報告申し上げます。また、ハイライトグループについては、津軽三味線のグループを呼ぶことで日本デー文化委員会で一致し、同グループは現在文化庁に助成金を申請している。

③ヘッチェンス博物館 100 周年記念行事

○本年、ヘッチェンス博物館 100 周年記念行事（日舞・着物デモンストレーション、着物紹介行事、音楽アンサンブル「おとね」コンサート）が開催される所、文化部より、着物ショー（12 月 13 日）について着物のレンタル・当日の手伝い等へのご支援を頂き、感謝申し上げます。

2) 日本商工会議所 川島会頭

①2011 年の「日本週間」及び「日本デー」

2011 年は日独通商条約 150 周年ということでもあるので、日本商工会議所として、この開催に関し何が出来るか「2011 年検討委員会」を立ち上げる予定である。

②デュッセルドルフ大学との連携

掲題の学長より、当地日本人社会との連携を深めたい旨の申し出があった。例えば「ドイツにおけるビジネスマン講座」等が考えられるが、いずれにしても何が出来るか検討して行きたい。

3) 日本人学校 木田事務局長

①10 月末現在の全日制校の児童・生徒数：523 名でこれは前年同月対比 33 名の減少。このところまた

減少傾向が続いている。

- ②先週金曜日までに学校では、計 44 名（内教諭 4 名）が新型インフルエンザに感染した。本日も 2 名が発熱したということで、現在 46 名が欠席しており、急遽 4 学級閉鎖することになった。これで 6 月からの学校での感染者は、通算すると 2 割の児童生徒及び教諭が感染したことになる。

4) ジェトロデュッセルドルフ 岩崎所長

12 月 8 日（火）於 ミュンヘンで「日独経済シンポジウム」を開催することについては、日本商工会議所を通じて案内させて頂いている。これは、ジェトロと経済省が、毎年海外で対日投資シンポジウムを開催しており、今回の開催は、その一環である。ご都合つく方は是非、参加願いたい。

10. 本田圭祐選手サッカークリニック（事後報告） 柚岡事務総長

10 月 25 日（日）オランダサッカー 1 部リーグ『VVV フェンロ』チームで活躍中の本田選手の申し出で、検討の結果、日本クラブ・日本商工会議所が協力する形でサッカークリニックを開催した。当日午前中、事前に募集した 50 名の児童たちは、本田選手より直接アドバイス・手ほどき等を受け、午後からは、今回の会に賛同した地元のフォルトゥナ並びに VVV フェンロの児童チームも参加し三国親善試合が行われた。今回参加した子供たちにとっては、大変よき思い出になったかと思える。この場を借りて、本開催のスポンサー並び協力頂いた関係者各位に感謝の意を表したい。

2009 年 12 月 17 日

JC 会長

運営委員会議長（総務管理部副部長）

署 名 （秋川 健次）

署 名 （宮村 啓路）

クリスマスと新年のお慶びを申し上げます！

副会長・総務管理部長 山田昌和

事務局 柚岡一明、内間ゆかり、檜山五郎、島村清治、大和田絹子、原 令子、則本和恵
